

# 外来がん薬物治療 副作用状況確認票【八尾薬薬連携版】

様（確認日： 年 月 日）

症状	0	グレード1	グレード2	グレード3	備考
発熱	なし	38.0-39.0℃	39.1℃以上	40℃以上	
食欲不振	なし	食欲は落ちているが、食事は変わらない	食事が減った（経口栄養剤を補充）	食事や水分を口からとることができない	
吐き気	なし	気持ち悪いが食べられる	食事が減った（経口栄養剤を補充）	食事や水分を口からとることができない	
嘔吐	なし	治療の必要なし	外来での治療が必要	入院での治療が必要（持続点滴、TPN）	
口内炎	なし	軽い症状があるが、食事に影響はない	痛みや腫れがあり、少し食事がしづらい	痛みが強く、食べることができない	
味覚異常	なし	味覚の変化があるが、食生活は変わらない	味覚の変化があり、食生活が変わる		
倦怠感	なし	だるさがある、または元気がない	日常生活に支障がある		
下痢	なし	普段より多い	普段より4-6回多い	普段より7回以上多い	
便秘	なし	時々便秘があり、下剤を使う	常に便秘があり、下剤を使う	下剤を使用しても排便がない（最終排便日： ）	
しびれ	なし	軽い症状があるが、日常生活に支障はない	症状があり、家事や仕事に支障がある	症状が強く、身の回りの日常生活動作に支障あり	部位：
痛み	なし	軽度の疼痛	中等度の疼痛 日常生活動作に支障なし	高度の疼痛 日常生活動作に制限あり	部位：
皮膚乾燥	なし	体表面積の10%未満 紅斑や掻痒は伴わない	体表面積の10-30% 紅斑又は掻痒を伴う	体表面積の30%以上 掻痒を伴う	部位：
ざ瘡様 皮疹	なし	紅色小丘疹と膿疱の散在、掻痒や痛みなし	痛みや掻痒を伴う紅色小丘疹と膿疱の散在	広範囲で激しい痛みや掻痒を伴う紅色小丘疹と膿疱の散在	部位：
掻痒	なし	限局的 局所的治療を要する	広範囲で間欠的 掻破による皮膚変化あり 内服治療を要する	広範囲で常時 睡眠や日常生活に制限あり。 ステロイドの全身投与等を要する	部位：
爪囲炎	なし	軽度の発赤や腫脹あり	発赤・腫脹により痛みを生じる	高度の腫脹、発赤、肉芽形成を認め、激しい痛みがある	
手足 症候群	なし	疼痛を伴わない軽度な皮膚の変化、皮膚炎	疼痛を伴う皮膚の変化	疼痛を伴う高度の皮膚の変化	
浮腫	なし	軽度の腫脹でよく見ると気付く	見てすぐわかる状態	輪郭の異常が著明	部位：